

H29.9.14 東淀川区区政会議 第3回 健康・福祉部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成29年9月14日(木)午後7時から午後9時 東淀川区役所3階304会議室

出席者 健康・福祉部会委員9名

議題1 東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～(案)について

(健康に関する区民アンケートについて)

- スポーツをしている割合37%とあるが、府や市ではどのくらいの順位か。
- 定期的に通院している通院率のアンケートを入れてはどうか。

・統計資料探してみる。通院率は厚生労働省の調査で合致するものがあるか調べてみる。

議題2 平成30年度東淀川区運営方針(原案)について

(複合課題世帯への支援について)

- 29年度から弁護士相談が始まっているが、これまでの相談など教えてほしい。
- 単身高齢者・障がい者とのつながりを地域でどう進めればいいのか提示いただきたい。
- 地域としては、どこに課題のある人がいるのか、どう掘り起こし吸い上げるのかが課題。
- 自分から助けを求めてくれればいいのか、どこに相談にいけばいいかわからない人もたくさんいる。そういう人に早くアプローチして潰していく必要がある。

・弁護士相談は月一回。ごみ屋敷問題など、大阪弁護士会の先生に法的なアドバイスをいただき、支援の参考にしている。

(単身高齢者への支援について)

- 単身高齢者が多いと感じている。在宅介護では、鍵の開け閉めなど身近な問題が整理されていない。東淀川区は医師会等との連携などで熱心にできてきている。介護制度以外でもっと他区より進んだ具体的な取組み、共助を深めていくことに取り組んでもいいのでは。
- 鍵の開け閉めはアプリの暗証番号で開けられるものがありヘルパー等使っているが、悪用されると怖い。頼れる老人福祉施設も作られていく。気軽に入ってもらえるようにしては。
- 男性の独居死亡率は女性の8倍にも。長崎軍艦島では町会で高齢男性に毛布などの支援。
- 高齢男性の居場所が必要。ふれあい喫茶などにも行ってみるが会話がなくなり行きづらくなることも。そば打ちなどをみんなと一緒にできるなど工夫が必要。

・独居高齢者多い。東淀川区だけでなく国全体の課題である。区としてもライフステーションや見守り相談室等協力をいただいて進めているがまだ足りない。地域保健福祉計画にもあるように、公助だけでなく、自助、共助の取組みとしてどう進めていくか、今後の取組み課題として検討する。

(その他の支援について)

- アルコール依存症の方の支援はあるが、本人に治療の意思がなかったり、改善に長い期間が必要でそのプロセスを誰がどうするのか。もう少し行き届けばいい。
- もっと ICT を使っては。17 万の人口を抱える区で人海戦術は無理がある。予算も人も難しい。今日も元気やでとボタン押すとか、ICT を使っている他都市の事例を取り入れては。

- ・アルコール依存症は、主治医・ご家族・介護支援者がストレスを抱えながら対応している。区役所に相談いただき、チームで関わるのが大切。一緒に考えていきたい。
- ・区だけでできる事業があるか考えていきたい。市でできる事業があれば提案していきたい。

(29 年度取組内容項目との変更について)

- 健康の項目で 29 年度にあったレディースデイや介護予防などは継続しているのか。
- 福祉の具体的取組の順番が 29 年度と変わっているのは意図があるのか。

- ・レディースデイなど「検診の受診勧奨」の項目のところで実施。介護予防は昨年度まで介護連携の項目にしていたが、健康は点でなく大きな形で考えるべき。健康寿命の延伸ということでもまとめて記載した。百歳体操介護予防活動やサポーター事業も含めている。
- ・福祉の順番については、複合課題世帯についてはこの部会の意見からの事業なので一番にした。見守りは予算額の関係で最後の項目とした。